

ちょぼら

みんなで楽しく気軽にちょっとずつのボランティア

vol.47

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



平成30年度大刀洗町人権講演会

ナレーションサークル風は障がい者・高齢者施設や町図書館等で朗読を届けています。9月8日の人権講演会では、諭吉の唱えた『人生に役立つ学び』と題して朗読講演を行いました。



聖ヨゼフ園



フレグランス大刀洗

01-フォトギャラリー

朗読ボランティア
ナレーションサークル風

02-ボランティア入門講座報告

「楽しみの先にやりがい・喜びがある」

03-ボランティアroom

お話ほっとたいむ
～子どもたちの想像力を育てたい～

04-私のボランティア日記

・ちょぼらな話題
・社会福祉事業共助者表彰

笑顔いっぱい生きまっしょ!

～楽しく生きる秘訣をお教えします～



講師

NPO法人福岡県レクリエーション協会
専務理事 佐藤 靖典 氏



日時：平成30年9月8日（土）
場所：ドリームセンター 展示ホール
参加者：119名

佐藤先生の「75歳以上の方に拍手を！」という発声で講座が開始、大きな拍手が会場に響き渡り、その後もクイズや体操等、会場の皆さんも参加型の笑いの絶えない楽しい講座になりました。

ボランティアをめざす人を『志民』と呼び、「できる人が・できる事を・できる時に・できるだけ・出し惜しみしない」これを5D運動というそうですが、この精神で「志民社会」を創りましょうということでした。ボランティアは、してあげる、してもらおうということではなく、常に Win Win の関係！ボランティアを受けた方からの感謝やお礼の気持ちを素直に受け取ることも、これからのボランティア活動が続けて行く上で大切なことと教えていただきました。

ボランティアは誰かを幸せにするだけでなく、自分自身も、楽しみや幸せを感じるものでなければならない。長く続けていくためにも、喜びや楽しみを感じられるものでなければならないと思いました。

最後に、先生の指導で「北国の春」の曲に合わせて健康体操を行い参加した皆さんも大いに盛り上がりました。身体も頭も心もスッキリ！楽しい中にたくさんのヒントやメッセージをいただきました。

参加者アンケートより

- ・ 楽しみの先にやりがいがある
- ・ 笑いのある楽しい講座だった
- ・ 「ラ」の音の挨拶が一番心地よい
- ・ 日々のつながりを持つこと、声かけの大切さ
- ・ ボランティアの喜びと感動を得た、今後も前向きに参加したい

楽しみの先にやりがい・喜びがある

ボランティアroom

身近な“あの人”にちょっとイイ話をインタビュー

こころ豊かに暮らそう

お話ほっとたいむ
子どもたちの想像力を育てたい

Q. グループの成り立ちは？

平成元年に発足した「たんぼぼ文庫」が前身です。平成8年に「お話ほっとたいむ」と名前を変えて、メンバーも一新して再スタートしました。町の図書館でのおはなし会を中心に、小学校のお昼の時間や地域のミニデイ等でもおはなし会をしています。

Q. 活動する中で大事にしていることは？

どんな世の中になっても子どもたちはお話を聞くのが大好きです。私たちは子どもたちと絵本の楽しさを共有して、子どもたちの想像力を育てて行きたいと思っています。これからも細く長く続けて行ければ幸いです。



代表 阿部 真由美さん



Q. 活動していて、良かった・うれしかったと思うことは？

昔、お話を聞かせた子どもたちが成長して親になり、自分の子どもや地域で読み聞かせをしていると聞くことがあります。そんな時は、永く続けてきて良かったと思う瞬間です。

また、永くやっていると自然とグループ愛が芽生えてきて、月1回の例会も楽しくやっています。

Q. これからの抱負・伝えたいことは？

- ・メンバーの中に素話（すばなし：絵本などを使わず話だけをする）ができる人が増えるといいと思います。そして夢のある話を子どもたちにしてあげたい。
- ・わらべ歌や童謡を残したい。それは親子で一緒に歌うことで情景が心にいつまでも残るからです。同じ思いを持ったメンバーが増えたらいいナ!!



図書館のクリスマス
おはなし会のお知らせ

12月8日（土）午後2時～

4つの読み聞かせボランティアが
ペープサートや大型紙芝居など楽しい
お話を用意してお待ちしています。
おみやげもあるヨ！

町の図書館の おはなし会のご案内

図書館では、毎週土曜日の午前11時からおはなし会を開催しています。親子・ご家族でお越し下さい。



私のボランティア日記

配食ボランティア青い鳥 菊池校区 安河内 征二

私が「青い鳥」のボランティアを始めて 15 年以上たちました。「手伝って」と声をかけられて以来、休むことなく月 2 回の配食活動を続けてきました。

こんなに長く続けて来れたのは、あらためて考えると「使命感」が出てきているからだと思います。高齢の方が待っておられると思うと、「美味しいものをなるべく時間通りに届けたい」という気持ちになるし、お弁当を手渡して自然な形で利用者を見守っていることも大事なことだと思います。

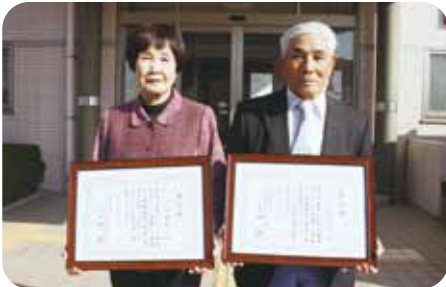
もうひとつは「厨房の和」です。料理の上手な人がリーダーとなって調理をし、風通し良くみんなで意見を出し合っとうまくいくように努めています。

大堰・本郷校区、大刀洗校区の青い鳥の皆さんも、ご苦労を乗り越えて頑張っています。季節の食材をいかす献立を考えて、買い出しをし、美味しく調理して時間通りに届ける…なくてはならない大事な活動だと自負しています。



大刀洗町社会福祉協議会 社会福祉事業協助者表彰

11月10日のドリームまつりにおいて、多年にわたる活発なボランティア活動により、地域福祉の推進に尽力された功績が認められ、次の 2 団体に表彰状が贈られました。



左:折鶴会(障がい者施設で交流) 代表 宮寄律子さん
右:たけのこクラブ(廃品回収・環境美化) 代表 寺嶋信幸さん

ちよぼらな話題

「僕でよかったら」

南本郷 田中 徳平 さん



中央公民館講座
菊池SAKURA組女性学級で
ブローチづくりを指導(8/16)

生涯学習課から依頼をいただき「僕でよかったら」と引き受けました。

若い頃から約 40 年能面の彫刻に魅了され、現在もコンクールに向け制作中です。能面の彫刻は時間を忘れて集中し繊細な技に神経を使います。そんな中、ブローチづくりは目先が変わっていい機会になりました。

準備が少々大変でしたが、竹灯ろうづくりの仲間「灯わ会」のメンバーが手伝ってくれました。僕の周りには、気軽に手伝ってくれる仲間がいっぱいます。

これからも「僕でよかったら」お手伝いしたいと思います。

スマイル



代表 福村宮生
福村千代美
田島孝三
宮崎誠